

## 「ASPIRE Undergraduate Engineering Design Challenge 2023」を開催

本学が加盟している ASPIRE リーグ\*の学部生対象国際ワークショップ「ASPIRE Undergraduate Engineering Design Challenge (UEDC) 2023」を6月26日(月)から6月30日(金)の5日間に渡り開催しました。ASPIRE リーグは、アジア地域の理工系トップ大学のコンソーシアムで、アジアにおけるイノベーションハブを形成することを目的に、2009年に東工大主導により設立されました。2014年以降、リーグの活動の一環として学部生の交流プログラムを行っています。昨年度に引き続き今年度も本学が主催し、初めて対面で大岡山キャンパスにて実施しました。

このプログラムは、環境・社会理工学院融合理工学系 因幡和晃准教授が、東京理科大学経営学部国際デザイン経営学科の八木澤優紀准教授とともに、デザイン思考と葛飾北斎のものの見方・考え方を交えたエンジニアリングデザインの基礎を学べるワークショッププログラムとして企画・実施したものです。清華大学、韓国科学技術院 (KAIST)、南洋理工大学、香港科技大学から19名、本学からは8名、全体で27名の学部学生が参加しました。

なお本学参加者向けには、国際エンジニアリングデザインプロジェクト基礎S(2単位)という授業科目として開講されました。

### ワークショップスケジュール

	June 26 (Mon)	June 27 (Tue)	June 28 (Wed)	June 29 (Thu)	June 30 (Fri)
10:45-11:35	Ice Breaker & Orientation	Instruction	Instruction	Instruction	Group Work
11:35-12:25		Group Work	Group Work	Group Work	
13:45-14:35	Instruction	Visiting Museum in Ueno (by reserved bus)	Instruction	Instruction	Group Work
14:35-15:25	Group Work		Group Work	Group Work	Final Presentation & Reception (-18:00)
15:40-16:30			Group Work	Group Work	
16:30-17:20 (Final Day -18:00)	Feedback Meeting		Feedback Meeting	Feedback Meeting	

## ワークショップ

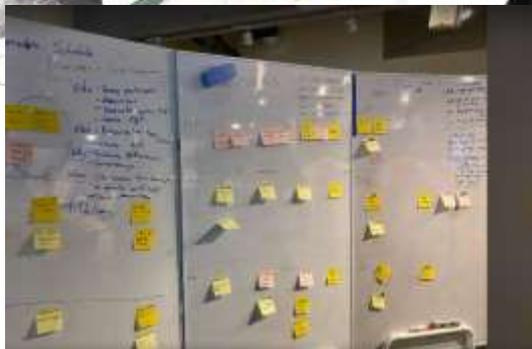
昨年同様、今回も「デザイン思考」の基本である「共感」「定義」「発想」「プロトタイプ」「テスト」の5つのステップを理解し、新しいデザインやサービスを探求することを目的に、「日本のイベントをヒントとして日本人のみが購入する製品・システム・サービスをデザインする」という課題にグループで取り組みました。学生は所属大学混成の5つのグループに分かれ、自国の文化やイベントと対比させながら日本文化や日本における季節のイベント（行事）を学ぶ・選定する作業から始めました。各チームは、花見、花火、節分、成人式といった日本独自のイベントを選び、自らがインタビュアーとなって日本人にその行事について質問し、アイデアをプロトタイプで目に見える形にしながらテストを繰り返して、最終日の発表会に向けて製品やサービスの提案をまとめていきました。

ワークショップでは、期間中3回行われたフィードバックミーティングで環境・社会理工学院融合理工学系 齊藤滋規教授、西條美紀教授、大橋匠准教授、田岡祐樹助教から各チームの活動に対するコメントやアドバイスがあり、参加者たちは最終発表に向けてアイデアを磨いていきました。また本学の大学院生5名がティーチングアシスタントとして各グループに入り、グループ内の議論をサポートしました。

## 担当教員

### Teaching staff and mentors

 <b>Kazuaki INABA</b> Engineering design	 <b>Masaki YAGISAWA</b> Art		
 <b>Miki SAIJO</b> Communication design	 <b>Shigeki SAITO</b> Design thinking	 <b>Takumi OHASHI</b> Smart agriculture	 <b>Yuki TAOKA</b> Co-design



Group #2

A male student in his 20s used to wearing casual clothing + the fashion festival process & has always been the norm. HOWEVER, he wants to express his individuality through clothing + get some special awards

3-11-18

① How might we use the "peer pressure" in our favor?

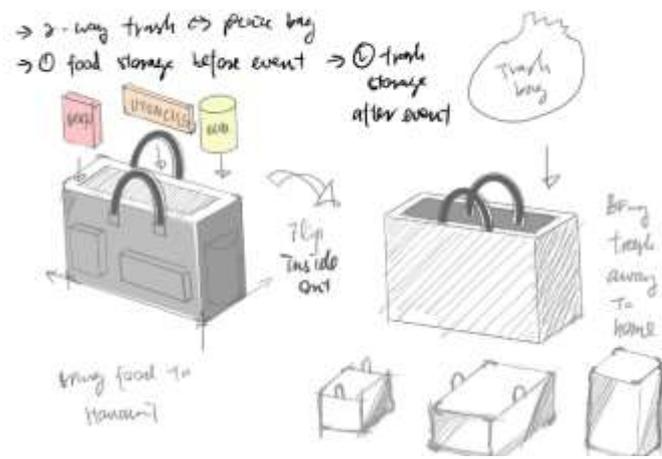
② How might we offer last minute mind change advice?

③ How might we make wearing Yeosta a fast, easy, simple for males?

→ How might we create a reason to wear Yeosta?



Perfect Trash





## 東京国立博物館

6月27日には、日本文化への造詣を深める目的で東京国立博物館への見学ツアーを実施しました。参加者全員、日本文化の世界に浸り、貴重な時間となりました。



## 最終プレゼンテーション

6月30日の最終プレゼンテーションでは、花見や花火大会で出るごみ問題を解決するサービス、男性が気軽に浴衣をレンタルできるサービス、節分でまいた豆を子どもが楽しく片付けることができるアイデア、成人式での若者の泥酔を防ぐための、身につける可愛いアルコールチェッカー、といったグループワークの成果が、力作のスライドと参加者が熱演する寸劇で発表されました。

5日間という限られた日程の中で、日本のイベント・文化について理解を深め、各チームともインタビューからユーザーのニーズを探り出し、手に取って触れる形で解決策として発表してくれました。





最終プレゼンテーションについては、担当教員、及び、ASPIRE リーグ事務局長の高田潤一教授（環境・社会理工学院長）より総括的なフィードバックがありました。



## レセプション

閉会式前のレセプションでは、参加者全員がオードブル弁当を堪能しました。



## 閉会式

ASPIRE UEDC2023 の担当教員である因幡和晃准教授、及び ASPIRE リーグ事務局長の高田潤一教授（環境・社会理工学院長）より閉会の挨拶があった後、林 宣宏副学長（国際連携担当）から参加者への修了書授与がありました。

担当教員 因幡准教授より：

今回参加者には、曖昧さとダンスする（楽しみつつ行ったりきたりする）デザイン思考のプロセス、また漫画の原点ともいえる葛飾北斎のものの見方をツールとして用いる方法を学んでもらいました。これらは、今現在学部生の彼らが、どの専門分野であろうと将来研究をする上で役立つ経験となると思います。



最終日の記念撮影





#### \*1 ASPIRE League

本学が発案し、2009年に設立された、科学技術の発展と人材の開発を通してアジアにおけるイノベーションのハブを形成することを目的とした、アジア地域における理工系トップ大学のコンソーシアムです。加盟大学は、清華大学（中国）、香港科技大学（中国）、南洋理工大学（シンガポール）、韓国科学技術院（韓国）と東京工業大学の5大学。本学は、設立当初より事務局を務めています。

#### 関連リンク

Official Site of the ASPIRE League

<http://www.aspireleague.org/>

ASPIRE League

<https://www.titech.ac.jp/international-cooperation/global/featured/aspire>

国際交流 TOPICS ASPIRE リーグ

<https://www.titech.ac.jp/public-relations/global/stories/aspire-league>